

5 戦略課題を設定

都市政策研 企業などに問題提起

新潟市の都市政策研究所は、策定を進めていた都市構想「田園環境都市をめざして」を取りまとめた。同市の現状分析を踏まえ、向こう10年ほどの間に取り組むべき五つの戦略課題を設定。行政だけでなく、市民や企業、NPOなど幅広い活動主体への問題提起という形を採った。

五つの戦略課題は、①再構築④助け合いの新潟 ②都市連携③ニューフード モデル⑤新潟みがぎと対 バレー構想⑥公共交通の 外発信。



写真に聞いた。 今回の構想の狙いは何ですか。

「従来の役所の計画や構想

上山所長(慶大教授)に聞く

は、政策の列挙みたいなものが多かった。今回は『やるべき作業』を提示する意味合いが強く、予算と関係なく実行できるものもある。実行する

「縦割り脱却」意識

担い手も多様であるべきで、企業やNPO、役所の縦割りを超えたチームなどを意識している。

「強調したい点はどんなこ

「例えば公共交通では、バ

「公共交通」では、高齢者らに利用しにくいとされるバス交通改善の必要性を強調。「助け合い」では、住民同士が協力する「共助」といった伝統的なソフト資産を

「助け合いの精神や食文化など新潟のいい面が外に知られていないのは大きな課題。待つのではなくこちらから発信する、情報戦を意識した戦い方をする必要があります」

「助け合いの精神や食文化など新潟のいい面が外に知られていないのは大きな課題。待つのではなくこちらから発信する、情報戦を意識した戦い方をする必要があります」

新潟市の現状分析

分野	長所	短所
産業・経済	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアの一角を占める有力都市 食品を中心とした製造業が集積 高い専修学校進学率に見られる実学志向 国際空港、港湾、新幹線などの交流基盤がいち早く整備 	<ul style="list-style-type: none"> サービス産業、クリエイティブ産業の集積が不十分 低い大学進学率 創造的な仕事に携わるクリエイティブな人材が少ない
住み良さ・暮らしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護世帯が少ないなど安定した社会 家族関係が安定し、地域のつながりが密 出火、犯罪が少なく安心・安全 	<ul style="list-style-type: none"> 過度な車依存社会 公共交通が貧弱で交通弱者にとっては不便 市街地の公園面積が不足
都市の魅力	<ul style="list-style-type: none"> 広大な農地が醸し出す田園環境は将来的に大きな強み 	<ul style="list-style-type: none"> 外からみたイメージが薄い 良いものがあまり外に知られていない

(都市政策研究所まとめ)

評価し、「新潟みがぎ」では、湊町ならでの歴史伝統、人情味あふれる逸話や漫画を積極的に対外発信するべきだとした。 研究所所長の上山信一 慶応大学教授は「構想

は、行動を促すための問題提起なので自らができることを考えてもらえれば」と話している。 構想は研究所ホームページに掲載。アドレスは、 http://www.city.niigata.jp/info/toshi_ken/

22.3.11 (木) 新潟日報 21面